

反弹圧、反リニア、組織拡大をさらに闘おう！ 2009年度組合員セミナー開催

11月28～29日、本部は目黒さつき会館で、2009年度組合員セミナーを開催しました。セミナーには、総勢90名が参加しました。

鈴木委員長はあいさつで、「今セミナーのテーマは、えん罪、リニアである。しっかり学習し自らを鍛えていこう」と訴えました。

講演は、えん罪袴田事件とリニアの問題で2つの課題を受けました。

一つ目の、袴田巖さん実姉の秀子さん、浜松・袴田巖さんを救う会の寺澤暢紘さんからは、「袴田さんは無罪だ！静岡地裁は直ちに再審を開始し無罪判決を！」と題した講演を頂き、この間の袴田さんの獄中での様子、警察が証拠を捏造した事実などが紹介され、改めて警察権力への怒りを全体で確認しました。

また、二つ目の課題として、慶応大学川村晃生教授より、「科学の原罪 一人間と自然と」と題し、文学の視点から、リニア中央新幹線構想がいかに人間と自然を破壊するものであるのかが紹介されました。相模原市議会野元好美議員は、「リニア中央新幹線をめぐる神奈川の状況」と題した講演で、地元では駅誘致合戦でいかにも未来があるかのような宣伝が広まっているが、環境や市財政の問題などを考慮すると、楽観できない状況を訴えました。



JR総連・田城郁政策調査部長

そして、JR総連特別執行委員・田城郁政策調査部長があいさつに駆け付け、JR総連の闘いが報告されました。

本部の問題提起では、反弹圧、反リニア、組織拡大の闘いの中間総括を踏まえ、今後も奮闘していくことを訴え、全体で確認しました。職場報告は、新幹線関西地本と東京地区分会から、職場における苦闘が報告され、全体で教訓化していくことを確認しました。



袴田秀子さん



寺澤暢紘さん



川村晃生教授



野元好美市議